

ディプロマ・ポリシー		カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>本学科は、大学の定める修業年限以上を在学し、共通教育科目・基礎教育科目および専門教育科目を所定の履修方法に従って124単位以上を修得し、国際的な広い視野と高い倫理観を持ち、なおかつ次のような能力・資質を備えた者に対し、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定します。卒業が認定された者には、学士(健康・スポーツ科学)の学位を授与します。</p>		<p>本学科は、ディプロマ・ポリシーを達成するために、次の方針で教育課程を編成します。</p> <p>健康・スポーツに関わる実践者・指導者・管理者に必要な基礎理論と技術を講義・演習科目で学び、それに基づく技能を学内実習科目で磨き、最終的には学外の現場実習科目で応用するという、段階的・発展的な学習ができる科目配置を行っています。また、健康・スポーツに関する知識と技能を体系的に学修するために、健康・スポーツ科学に関する知識と技能を専門的に学修するための「学科専門教育科目」と、スポーツ科学を体系的に学ぶために「学部共通専門教育科目」を設定しています。</p> <p>「学科専門教育科目」では、アスレティックトレーナー養成に関わる科目群、より高度な教員養成に関わる科目群、競技スポーツの指導に関わる科目群を設け、健康・スポーツ科学領域において高度な専門的理解や実践力の獲得を目指します。</p> <p>「学部共通専門教育科目」では、健康・スポーツ科学を学ぶ者に共通して必要となる、基礎的・専門的知識および技能を身につけることができます。</p> <p>①スポーツ教育領域科目群を履修することにより、中学・高等学校保健体育科教員を目指す者に必要な、体育授業を実践するための基礎的な理論と技術を身につけることができます。</p> <p>②スポーツ科学領域科目群を履修することにより、ジュニアスポーツのコーチを目指す者に必要な、競技力向上のための優れたコーチングとトレーニング指導、スポーツ傷害・外傷予防の理論と技術を身につけることができます。</p> <p>③健康スポーツ領域科目群を履修することにより、健康運動指導士や健康運動実践指導者を目指す者に必要な、スポーツ、運動、身体活動を通じた健康支援の理論と技術を身につけることができます。</p> <p>本学科は、以上の教育課程全般において積極的にアクティブラーニングを取り入れて能動的に学修する態度を養い、各科目における「知識・理解」「技能・表現」「思考・判断」「態度・志向性」の枠組みで示した能力・資質についての評価および卒業研究によってディプロマ・ポリシー達成の評価を総括的に行います。</p>	<p>本学科は、「Sports for All の時代をリードできる人」を養成するという教育目的を持っています。したがって、健康・スポーツを科学的・専門的に学ぼうとする強い意欲を持ち、次のような現場において活躍・貢献しようとする学生の入学を求めます。</p> <p>①教育および生涯学習における運動指導現場において、健康・スポーツ教育の充実に貢献しようとする者</p> <p>②競技スポーツにおけるジュニア期以降のスポーツ指導・サポート現場において、優れたコーチングとトレーニング指導によって競技力向上に貢献しようとする者</p> <p>③地方自治体や企業・民間のスポーツ施設における施設・プログラム管理現場、医療・福祉施設・幼児施設等における運動・フィットネス指導現場において、スポーツ・運動・身体活動を通じた健康支援に貢献しようとする者</p> <p>④スポーツ関連の企業や団体、スポーツイベントの企画・運営などのスポーツビジネス分野で活躍しようとする者</p> <p>＜入学時までに身につけてほしい学力・能力＞</p> <p>本学科は、競技力の向上や健康で豊かな社会の構築に関わる幅広い指導者養成のため、健康・スポーツを科学的・専門的に探求する多様な学修を展開しています。そこで主体的な勉学の習慣に加えて、大学入学時までに、次のような学力や能力、スポーツの実践力を研ぎ、入学後の学修に臨むことを求めます。</p> <p>1) 知識・技能および思考力・判断力・表現力</p> <p>①国語や英語などで学ぶ読解力・構成力・論理的表現力と、そこから得られるコミュニケーション力</p> <p>②地理歴史や公民などで学ぶ基礎的な知識と、そこから得られる社会を読み解く力</p> <p>③数学や理科などで学ぶ基礎的な知識と、そこから得られる論理的・科学的な思考力</p> <p>2) 主体性を持って多様な人々と協働する力</p> <p>①集団活動における主体性、コミュニケーション力、リーダーシップ、高い倫理観</p> <p>3) 体育やスポーツ分野における実践力</p> <p>①各種スポーツの技術・技能、スポーツの実践力とそれに係る体力、スポーツ実践の経験知</p>
1. 知識・理解	1-1	健康・スポーツに関する基礎的知識から専門的知識を幅広く体系的に修得している。	
	1-2	健康・スポーツの実践・指導・管理のための適切で正しい方法を理解している。	
2. 技能・表現	2-1	健康・スポーツを実践・指導・管理するための基本的・専門的スキルを修得している。	
	2-2	健康・スポーツを実践・指導・管理するためのコミュニケーション能力(外国語を含む)を修得している。	
3. 思考・判断	3-1	健康・スポーツの実践・指導・管理現場において、達成すべき成果を明確に設定した上で、問題を解決できる論理的思考力を有している。	
	3-2	健康・スポーツの実践・指導・管理現場において、安全・安心を最優先し、状況に応じた臨機応変で柔軟な判断ができる能力を有している。	
4. 態度・志向性	4-1	学際的な視点から専門分野を捉え、現場から実践的に学ぶ態度を有している。	
	4-2	高い倫理観に基づいて行動する健康・スポーツの実践的リーダーを目指す強い意欲と意志を有している。	